

1. DISの投票結果について

昨年6月1日付で発行されたISO/DIS22000に対する投票は、当初11月1日が締め切りでしたが、イギリスからの要請により延長され、11月19日に最終投票が締め切られました。その結果、TC34の投票権のあるメンバー41か国中賛成38、反対3(日本、フランス、オーストラリア)の圧倒的多数で可決されました。日本が反対した主な理由は、DISに含まれる付属書Aをこの規格本体から切り離すべきである

という認識と、日本が数多くのコメントを提出する予定であり、そのままFDISには出来ないという認識があったためでした。付属書Aは2004年6月のTC34/WG8の会合(デンマーク)でも、大幅な修正が行われており、規格本体から切り離すことが既に事務局からも提案されていました。また、投票にあわせて、賛成国を含めて全体で約1,000件におよぶコメントが提出されました。

2. 第7回、第8回TC34/WG8会合について

上記の結果を踏まえて、TC34/WG8の事務局であるデンマーク規格協会において、第7回TC34/WG8会合が2004年12月13日～15日に、引き続き第8回TC34/WG8会合が2005年1月13日、14日に開催されました。これらの会合において、付属書Aに関するコメント以外のコメントについて、1件ごとにその意見を取り入れるかどうかの議論が行われました。付属書Aについては会議終了以降、コメントの精査と、それを踏まえた改定案を日本とフランスが共同で作業を行うことになりました。次回会合は4月11、12日で、現時点のスケジュールは右のとおりです。



3. 今回のTC34/WG8会合の主な結論

今回の会合の主な結論をDISと比較してみると以下のようになります。

(1) 規格のタイトルについて

DISのタイトルは、組織(organization)が複数となっていました。ISO22000は、個々の組織に適用されるという理由で単数となり、以下のように変更されました。

旧: Food safety management systems –Requirements for organizations through the food chain
新: Food safety management systems –Requirements for any organization in the food chain

なお、このタイトル案はTC34/WG8としてのものであり、正式のタイトルはISO事務局の編集により決定されます。

(2) validation(妥当性確認)の定義について

ISO9001のvalidationの定義は本規格にはフィットしないという議論になり、validationの定義をCodexの定義に

変更しました。従って、validationではCCPおよびオペレーションPRP(Prerequisite program、前提条件プログラム)についてのみを対象とする表現となりました。

(3) PRP(Prerequisite program、前提条件プログラム)について

DISで示されていた、インフラストラクチャー、維持プログラムおよびオペレーションPRPが項としては独立せずPRPとしてまとめられました。PRPはあくまでもHACCPの前提条件であり、最初の段階では1つです。ハザード分析の結果、PRPの中からオペレーションPRPが特定され、CCPとともに管理手段(control measure)となります。

(4) 付属書Aについて

付属書Aの取扱いについて、規格本体とは別のガイドラインとし、別文書(Technical Specification)とした方がよいとの提案が行われ、了承されました。

< JQAの今後の予定 >

本年7月頃ISO/FDIS22000にてパイロット審査開始(適合証明書発行)予定

本年9月頃(ISO22000発行後)正式に審査開始予定

(パイロット審査分は差分審査にて登録証を発行)